

第八十四卷 第九号 目次

宮澤浩一先生追悼論文集

ドイツにおける青少年社会環境と青少年保護 安部哲夫

保安監置制度の正当化について
—法的強制としての自由の剝奪の可能性?— 飯島暢

序 現代取引社会における詐欺罪の罪質と処罰範囲 上田正和

追悼の辞 建造物損壊罪をめぐる問題について 内海朋子

追悼の辞 ハンス・ハイナー・キユー・ネ 商品先物取引と詐欺罪 大山徹

追悼の辞 ヤン・グロテア スウェーデン「拘禁法」の制定について 坂田仁

仮釈放要件と許可基準の再検討
—「改悛の状」の判断基準と構造— 島岡まな

共謀共同正犯における共謀概念 フランスにおける行刑法の制定と刑罰の調整の理念と現実 末道康之

ヨーロッパにおける受刑者移送制度の動向
—ドイツの状況を手がかりに— スポーツを対象とする違法賭博
—ブックキング・ビジネスの現状および合法化への問題点— 谷岡一郎

量的過剰について 佐藤拓磨

最近の刑法学の動向をめぐる一考察 日本国外における犯罪の被害者等に対する支援について 富田信穂

裁判員裁判における評決について 井田良 平良木登規男

被害者補償制度の世界的動向

―「損害賠償補填型」から「被害回復型」への転換― 諸澤英道

国民参与裁判制度施行三年の評価と展望 趙均錫

韓国における修復的司法の発展と現状 金容世

Is Restorative Justice a Viable Option
in Crimes of Violence Ezzat A. Fattah

宮澤浩一先生 略歴・主要業績